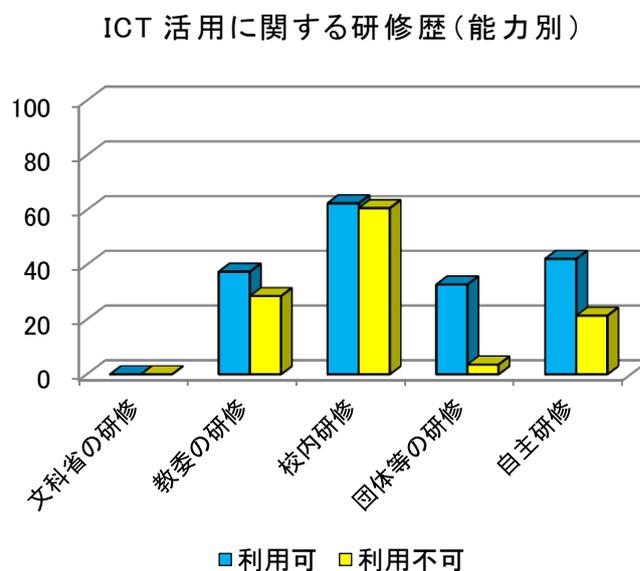
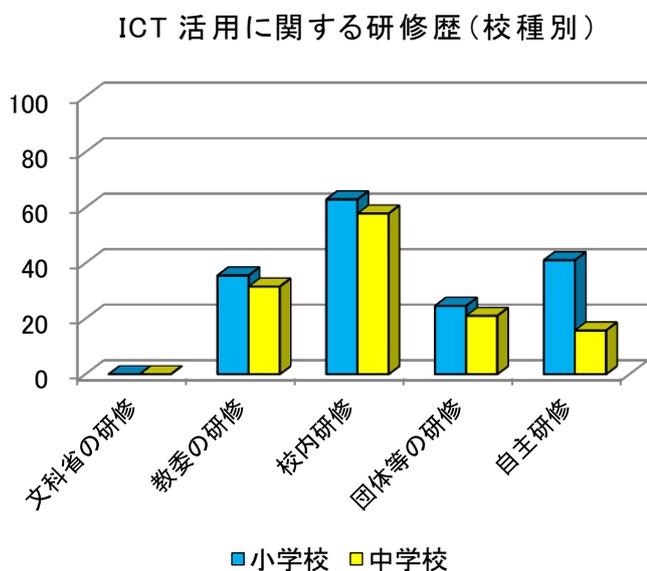
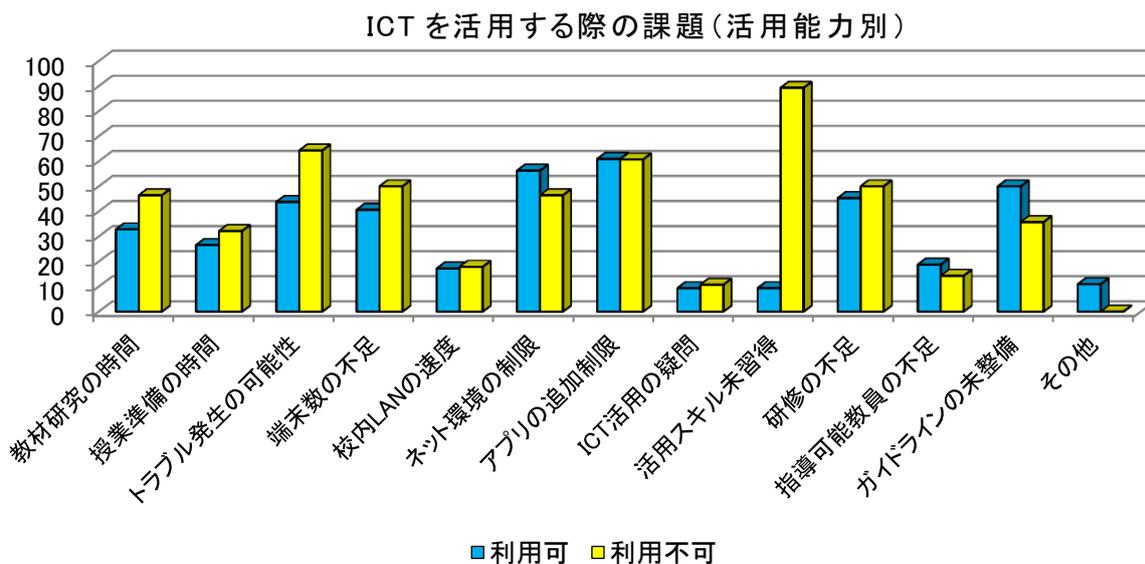
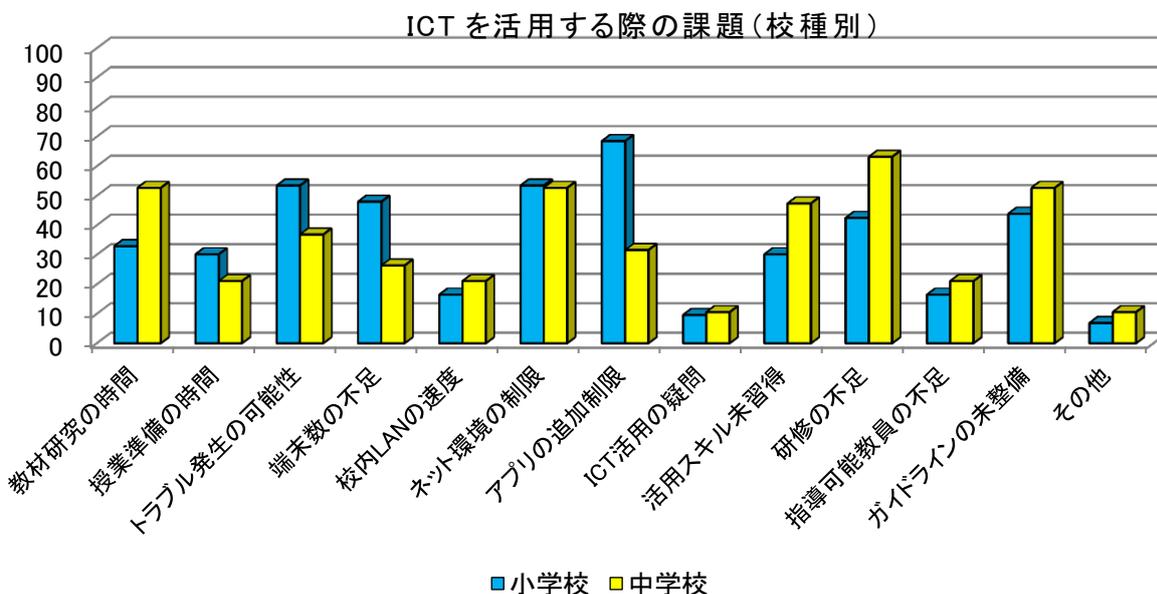


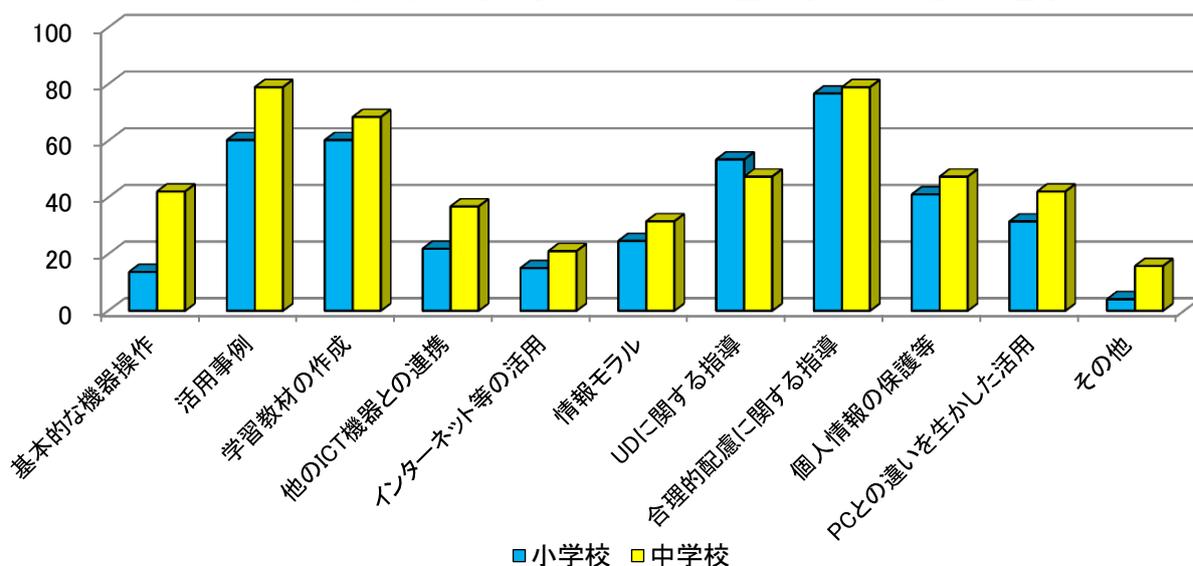
通級指導教室におけるICT活用に関するアンケート結果

2017.1.31

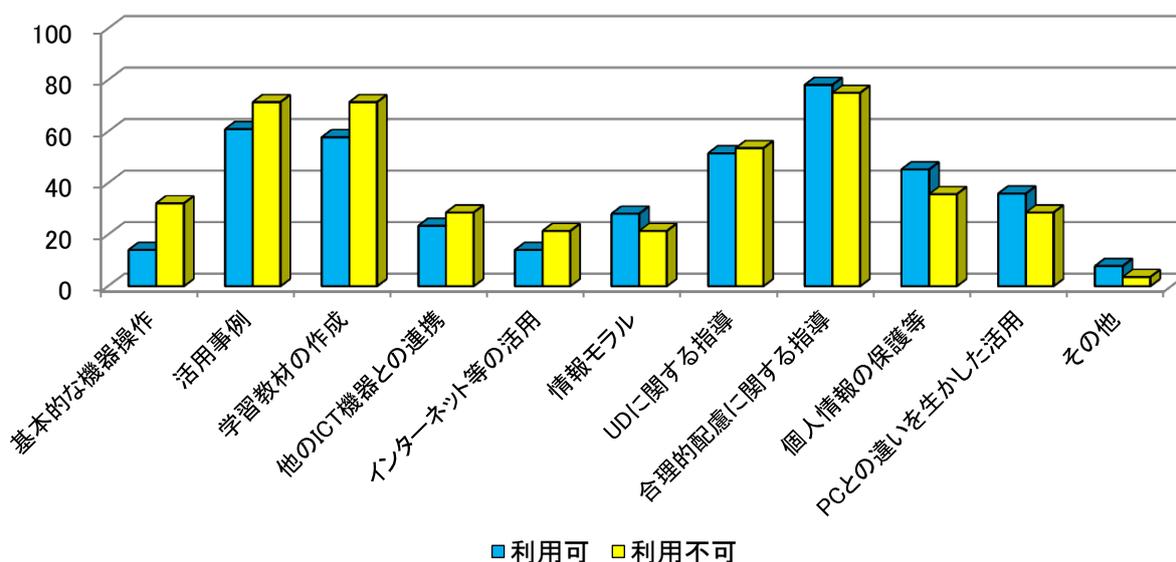
I ICT を活用する際の課題



タブレット端末を利用するに当たって希望する研修内容(校種別)



タブレット端末を利用するに当たって希望する研修内容(能力別)



【 概要 】

- ◆ICTを活用する際の課題について、小学校では「アプリを自由にインストールできない」と答えた教員が約7割で最も多く、中学校では「ICTの研修が不足している」と答えた教員が約6割で最も多かった。小、中学校を比較した場合、小学校に比べて中学校の割合が高いのは、「教材研究に時間がかかる」「自分自身が機器をうまく使えない」で、中学校に比べて小学校の割合が高いのは「タブレット端末が不足している」だった。また、活用能力別にみた場合、全体として割合が多かったのは、「ネット環境に制限があり自由にネットが使えない」「アプリを自由にインストールできない」「トラブルがあると授業が中断してしまう」で、タブレット端末等の利用があまりできない教員の約9割が「自分自身がICT機器をうまく使えない」と答えた。
- ◆ICT活用に関する研修歴について、小、中学校ともに校内研修が最も多く、小学校は中学校に比べて自主研修の割合が高かった。タブレット端末等の活用能力別に見ると、どの項目も利用できると答えた教員の方が、利用が困難と答えた教員よりも研修した割合が高かった。
- ◆タブレット端末を利用するに当たって希望する研修内容について、「合理的配慮に基づく使い方」「アプリを用いた学習教材等の作成」「基本的な機能を活用した指導場面の活用事例」「ユニバーサルデザインに基づいた指導方法」と回答した教員が多かった。校種別では、小学校よりも中学校の教員の方が各項目とも回答率が高く、能力別では、「基本的な機器操作」「活用事例」「学習教材の作成」は利用が困難な教員の回答率が高く、「情報モラル」「個人情報の保護等」「PCとの違いを生かした活用」は利用できる教員の回答率が高かった。